

平成26年度 事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章

B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2013年 順天堂創立175周年記念

開塾：1838年（天保9年）

順天堂の沿革

順天堂は、天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀(現在の東日本橋2-6-8)に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総佐倉(現在の千葉県佐倉市)に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」といまに語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、医院と研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は Juntendo Medical Journal:JMJ として)』を明治8(1875)年10月に発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。また第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医總監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ

健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更なる発展をさせました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、その本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに完成させました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実に努めました。

看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護婦取締(婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして近年、**第九代堂主(理事長)・小川秀興**は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、

- ①平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程を開設し、
- ②平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。更に、
- ③平成19(2007)年、医療看護学部大学院医療看護学研究科・修士課程が開設され、

- ④平成 22 (2010) 年、第 4 の学部として保健看護学部 (静岡県三島市) が開設されました。
- ⑤平成 25 (2013) 年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院 医学研究科・修士課程が開設されました。
- ⑥平成 14 (2002) 年 6 月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成 16 (2004) 年 4 月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第 5 番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- ⑦加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、平成 17 (2005) 年、順天堂第 6 番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。また、
- ⑧大学内に文科省 (文部省) などより認可を受け、
- (1) アトピー疾患研究センター、
 - (2) 疾患モデル研究センター、
 - (3) 老人性疾患病態・治療研究センター、
 - (4) 環境医学研究所、
 - (5) 感染制御科学研究センター、
 - (6) スポーツ健康医科学研究所、
 - (7) スポーツロジックセンター、
 - (8) 国際交流センター
- などが設立されました。
- ⑨平成 26 年 12 月国際的に活躍する人材養成を目的として第 5 の学部となる「国際教養学部」の設置認可を受け、平成 27 年 4 月開学し、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。

順天堂は、平成 12 (2000) 年、総病床数 2,225 床でありましたが、現在は総病床数 3,202 床となり、日本最大規模の大学附属 6 病院群を配置して強固なネットワークを形成しております。6 病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発展させつつ、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、“今、ふたたび「仁」”を掲げ、5 学部 3 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療を通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2015 年 5 月 15 日 (創立記念日)
学校法人 順 天 堂
理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24.11. 大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11.12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18.11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25.10. 大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12. (財) 順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. (財) 順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. (学) 順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27.2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育学専攻）開設。 昭和46. 1. 体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成 4.12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29.10. 順天堂醫院看護婦講習所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和39. 4. 順天堂高等看護婦学校へ改組。 昭和51.11. 順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15.11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 保健看護学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う取容定員関係学則変更認可。 平成21.10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。
	国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26.12. 国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	552 床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	656 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	348 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,202 床	

※病床数は平成27年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長・所長	文部科学省私立大学 研究設備等整備に係る事業	開設年月日	初代センター長
研究基盤センター	新井 一	—	平成 15. 10. 1	木南 英紀
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 12. 3. 21	水野 美邦
疾患モデル研究センター	新井 一	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19	小川 秀興
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 14. 9. 19	小川 秀興
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21世紀COEプログラム	平成 15. 4. 1	平松 啓一
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 19. 4. 24	小川 秀興
先導的がん医療開発研究センター	新井 一	—	平成 25. 11. 1	新井 一
ゲノム・再生医療センター	新井 一	—	平成 25. 10. 1	新井 一
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 17. 10. 1	小川 秀興
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	—	平成 26. 8. 1	小笠原悦子
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1	小川 秀興

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

研究科・学部・学科名称		修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3							
						1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
大学院	医学研究科	修士課程	2年	20	22	40	53	22 (20)	31 (20)	-	-	-	-
		博士課程	4年	120	127	440	486	126 (120)	117 (120)	134 (100)	109 (100)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	51	122	103	51 (61)	52 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	13	30	32	13 (10)	8 (10)	11 (10)	-	-	-
	医療看護学 研究科	博士前期課程	2年	15	20	30	33	19 (15)	14 (15)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	7	11	7	11	11 (7)	平成26年度開設		-	-	-
大学院 計			233	244	669	718	242 (233)	222 (226)	145 (110)	109 (100)	-	-	
学部	医学部 医学科	6年	124	128	718	722	127 (124)	127 (124)	121 (121)	124 (120)	107 (119)	116 (110)	
	スポーツ健康科学部		330	330	1,320	1,312	328 (330)	331 (330)	326 (330)	327 (330)	-	-	
	スポーツ科学科	4年	190	190	760	755	189 (190)	191 (190)	189 (190)	186 (190)	-	-	
	スポーツマネジメント学科	4年	70	70	280	278	69 (70)	70 (70)	69 (70)	70 (70)	-	-	
	健康学科	4年	70	70	280	279	70 (70)	70 (70)	68 (70)	71 (70)	-	-	
	医療看護学部 看護学科	4年	200	200	800	793	194 (200)	205 (200)	197 (200)	197 (200)	-	-	
保健看護学部 看護学科	4年	120	126	480	489	127 (120)	123 (120)	121 (120)	118 (120)	-	-		
学部 計			774	784	3,318	3,316	776 (774)	786 (774)	765 (771)	766 (770)	107 (119)	116 (110)	

※1. 入学者欄は平成26年4月に入学した学生数
 ※3. 在籍者欄下段は、該当年度入学時の入学定員数

※2. 在籍者欄は平成27年3月31日における学生数

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	木南 英紀	学長
	新井 一	医学部長、大学院医学研究科長
	島内 憲夫	スポーツ健康科学部長
	青木 きよ子	医療看護学部長、大学院医療看護学研究科長
	岡田 隆夫	保健看護学部長
	代田 浩之	順天堂医院長
	三橋 直樹	静岡病院長
	吉田 幸洋	浦安病院長
	津田 裕士	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	特任教授
	梁井 皎	特任教授
	多田 宏	非常勤
前田 稔	非常勤	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

6. 評議員

<選任条項順に記載>

児島 邦明	吉田 幸洋	高崎 芳成	稲田 英一	北村 薫	小川 薫
植木 純	細谷 芳三	照沼 則子	加納 實	高森 建二	富野康日己
森近 浩	中澤 真逸	土屋 清子	佐藤 潔	伊藤 政男	小川 秀興
木南 英紀	新井 一	島内 憲夫	青木きよ子	代田 浩之	梁井 皎
多田 宏	佐藤 信紘	岡田 隆夫	前田 稔	宮野 武	新井 平伊
石館 敬三	三橋 直樹	津田 裕士	津村 秀憲	奥村 康	稲富 恵子
澤木 啓祐	野川 春夫				(計 38名)

7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士 (医科学) 博士 (医学)	新井 一
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 (")	内藤 久士
	医療看護学研究科	修士 (看護学) 博士 (")	青木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	新井 一
	スポーツ健康科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	島内 憲夫
	スポーツ科学科	学士 (スポーツ科学)	菅波 盛雄
	スポーツマネジメント学科	学士 (スポーツマネジメント学)	北村 薫
	健康学科	学士 (健康学)	下村 義夫
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	青木 きよ子
	保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	岡田 隆夫
国際教養学部 国際教養学科	学士 (国際教養学)	木南 英紀	

8. 教職員数

(1) 教員数

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	169	17	53	2	50	3	294	150	444
(内訳)									
医学研究科	140	11	50	2	50	3	256	109	365
スポーツ健康科学研究科	17	6	1	0	0	0	24	14	38
医療看護学研究科	12	0	2	0	0	0	14	27	41
学 部	21	101	295	29	372	349	1,167	2,676	3,843
(内訳)									
医 学 部	5	78	270	10	330	342	1,035	2,412	3,447
スポーツ健康科学部	4	18	5	1	14	6	48	156	204
医療看護学部	1	3	15	8	22	0	49	61	110
保健看護学部	11	2	5	10	6	1	35	47	82
合 計	190	118	348	31	422	352	1,461	2,826	4,287

※上記内、併任教員数

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	138	56	0	40	234
学部本務教員内 大学院併任教員	4	337	4	10	355

教員数合計(本務・併任合計)

	教員数
大学院	799
学 部	4,077

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
591	13	3,962	41	158	4,765

教職員合計
9,053

<参考：平成 26 年度臨床研修医受入数（括弧内は平成 26 年度新規受入数）>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
79 (39)	29 (16)	67 (34)	57 (28)	232 (117)

9. 研究費・補助金

(1) 公的研究費補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費補助金

研究種目名	新規・継続		採択件数 (件)	直接経費 (千円)		間接経費 (千円)
	新規	継続		新規	継続	
新学術領域研究	新規	4	16	14,100	136,400	40,920
	継続	12		122,300		
基盤研究 (A) (一般)	新規	0	1	0	13,300	3,990
	継続	1		13,300		
基盤研究 (B) (一般)	新規	12	23	49,200	87,900	26,370
	継続	11		38,700		
基盤研究 (C) (一般)	新規	85	238	124,300	287,750	86,325
	継続	153		163,450		
挑戦的萌芽研究	新規	15	37	20,800	41,700	12,510
	継続	22		20,900		
若手研究 (A)	新規	1	1	4,900	4,900	1,470
	継続	0		0		
若手研究 (B)	新規	50	105	63,000	119,500	35,850
	継続	55		56,500		
特別研究員奨励費	新規	4	12	4,500	13,300	0
	継続	8		8,800		
研究活動スタート支援	新規	8	11	8,800	11,800	3,540
	継続	3		3,000		
合 計	新規	179	444	289,600	716,550	210,975
	継続	265		426,950		

② 文部科学省：研究拠点形成費等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	126,500	
合 計	1	126,500	

③ 文部科学省：大学改革推進等補助金

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成	1	16,700	
合 計	1	16,700	

④ 文部科学省：戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 23 年度～ 平成 27 年度	アトピー疾患研究センター 池田志孝 副センター長（教授）	“バリア”に着目したアレルギー疾患の病態解明と治療のための研究拠点の形成
平成 23 年度～ 平成 27 年度	老人性疾患病態・治療研究センター 服部信孝 副センター長（教授）	細胞・脳機能研究の融合による神経疾患診断・治療法開発拠点の形成
平成 23 年度～ 平成 27 年度	スポーツ健康医科学研究所 木南英紀 所長（学長）	子どもの健康づくりのためのスポーツ医科学研究拠点の形成
平成 24 年度～ 平成 28 年度	感染制御科学研究センター 平松啓一 センター長（教授）	薬剤耐性感染症の予防・治療のための新技術開発に向けた研究基盤推進
平成 25 年度～ 平成 29 年度	環境医学研究所 高森建二 所長（特任教授）	難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・治療法開発の研究基盤構築
平成 26 年度～ 平成 31 年度	スポーツロジックセンター 綿田裕孝 センター長補佐（教授）	骨格筋機能に着目した統合的な介護予防法開発プロジェクト
平成 26 年度～ 平成 31 年度	ゲノム・再生医療センター 新井 一 センター長（研究科長）	再生技術を用いた生活習慣病の次世代型統合的研究基盤の構築
平成 26 年度～ 平成 31 年度	女性スポーツ研究センター 小笠原悦子 センター長（教授）	女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートコンディション管理に関する研究基盤構築

⑤ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
地球規模保健課題推進研究事業	1	4,041	1,206
創薬基盤推進研究事業	1	27,645	8,293
難治性疾患等克服研究事業	2	29,339	8,711
合計	4	61,025	18,210

⑥ 厚生労働省：労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
労災疾病臨床研究事業費補助金	1	20,000	6,000
合計	1	20,000	6,000

(2) 委託費

① 文部科学省：科学技術試験研究委託事業

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	2	22,100	
次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	1	30,000	
オーダーメイド医療実現化プロジェクト	1	121,700	
オーダーメイド医療実現化プロジェクト(4領域研究)	1	1,500	
次世代がん研究戦略推進プロジェクト	1	1,900	
合計	6	177,200	

② (独) 科学技術振興機構：戦略的国際科学技術協力推進事業

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
日本(JST)ースイス (ETHZ) 研究交流	1	3,280	
合計	1	3,280	

③ (独) 科学技術振興機構：戦略的創造研究推進事業

種目名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
個人型研究 (さきがけ)	1	16,068	
チーム型研究 (CREST)	2	32,890	
社会技術研究開発 (研究開発成果実装プログラム)	1	12,350	
合計	4	61,308	

④ (独) 日本学術振興会：二国間交流事業共同研究

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
アルツハイマー病の画期的予防・治療法の開発	1	1,320	
合計	1	1,320	

⑤ 文部科学省・(独) 科学技術振興機構：研究成果展開事業

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム-トライアル	1	22,425	
合計	1	22,425	

⑥ 厚生労働省：厚生労働科学研究委託費

事業名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
医療機器開発推進研究事業	1	59,800	
再生医療実用化研究事業	1	50,000	
合計	2	109,800	

⑦ (独) 環境再生保全機構：第10期環境保健調査研究

分野	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備考
気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究	1	5,940	
合計	1	5,940	

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	(株)ヤクルト本社	特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
漢方医学先端臨床センター	(株)ツムラ	医学研究科 病院管理学 教授 小林 弘幸
加齢制御医学講座	ロート製薬(株)、新日本製薬(株) (株)山田養蜂場本社	医学研究科 免疫学 教授 三宅 幸子
認知症診断・予防・治療学講座	ヤンセンファーマ(株)、エーザイ(株) 他1社 (非公開)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
神経変性疾患病態治療 探索講座	大日本住友製薬(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
分子糖尿病制御医学講座	MSD(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	医学研究科長 新井 一
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業(株)	特任教授 奥村 康
循環呼吸睡眠医学講座 (睡眠時無呼吸症センター)	フィリップス・レスピロニクス (同) 帝人在宅医療(株)、フクダ電子(株)	医学研究科 循環器内科学 教授 代田 浩之
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	ノバルティスファーマ(株)、日本 ベーリンガーインゲルハイム(株)、 グラクソスミスクライン(株)、 日本メドトロニック(株)、協和発酵 キリン(株)、キッセイ薬品工業(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝

寄付講座名	寄付者	責任者等
脳神経血管内治療学講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 日本ストライカー(株)、テルモ(株)、 (株)カネカメディクス	医学研究科 脳神経外科学 教 授 新井 一
神経疾患病態構造学講座	マイクロダイアグノスティック(株)	特任教授 内山 安男
慢性腎臓病 (CKD) 集学的治療研究講座	ノバルティスファーマ(株) 協和発酵キリン(株)、興和創薬(株)、 田辺三菱製薬(株)	医学研究科 腎臓内科学 教 授 富野康日己
パーキンソン病病態解明研究講座	大塚製薬(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
電子医療情報管理学講座	富士通(株)	医学研究科長 新井 一
多発性嚢胞腎先進治療学講座	大塚製薬(株)	医学研究科 泌尿器外科学 教 授 堀江 重郎
多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	水素健康医学ラボ(株)、(株)アピスト、 メロディアン(株)、(株)健康家族、大和(株)、 バイオジェンアイデック・ジャパン(株)、 田辺三菱製薬(株)、バイエル薬品(株)、 小野薬品工業(株)、日本製薬(株)、 旭化成メディカル(株)、(社)日本血液製剤機構、 MiZ(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
神経再生医療講座	(株)財宝	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
ジェロントロジー：医学・健康学応用講座	東急不動産(株)	特任教授 佐藤 信紘

※責任者等の職制は、平成 27 年 3 月 31 日の現職を記載

11. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度 合計	入学試験 検定料	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
	医療看護学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000	※2 参照
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000	-
	スポーツ健康科学部※3		200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	※2 参照
	医療看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000 ※4	-	1,850,000	※2 参照
	保健看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000	-	1,850,000	※2 参照
	国際教養学部		300,000	1,000,000	-	-	250,000	1,550,000	※2 参照

※1 入学時のみ

※2 試験形態毎の入学検定料

学部	試験形態	入学検定料
医学部	一般	60,000
	地域枠	
	センター・一般独自併用	
	センター利用	40,000
	国際臨床医・研究医枠	
スポーツ健康科学部	AO	35,000
	推薦	
	一般(1学科)	50,000
	〃(2学科)	
	〃(3学科)	
	センター＋一般セット出願(1学科)	55,000
	〃(2学科)	65,000
	〃(3学科)	75,000
	センター利用A方式(センター単独型)	20,000
〃B方式(独自併用型), C方式(面接型), D方式(競技歴型)	各30,000	

学部	試験形態	入学検定料
医療看護学部	推薦	30,000
	一般	35,000
	センター利用	25,000
	併願(一般、センター利用)	55,000
	〃(一般、センター・独自併用)	
	〃(センター利用、センター・独自併用)	
〃(一般、センター利用、センター・独自併用)	70,000	
保健看護学部	推薦	30,000
	一般	
	センター利用	25,000
	併願(一般、センター利用)	50,000
	〃(一般、センター独自併用)	
〃(一般、センター利用、センター独自併用)	65,000	
国際教養学部	一般(前期、後期)	各35,000
	特別(前期、後期)	

※3 平成25年度スポーツ健康科学部入学者より引き下げを行いました

※4 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

12. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

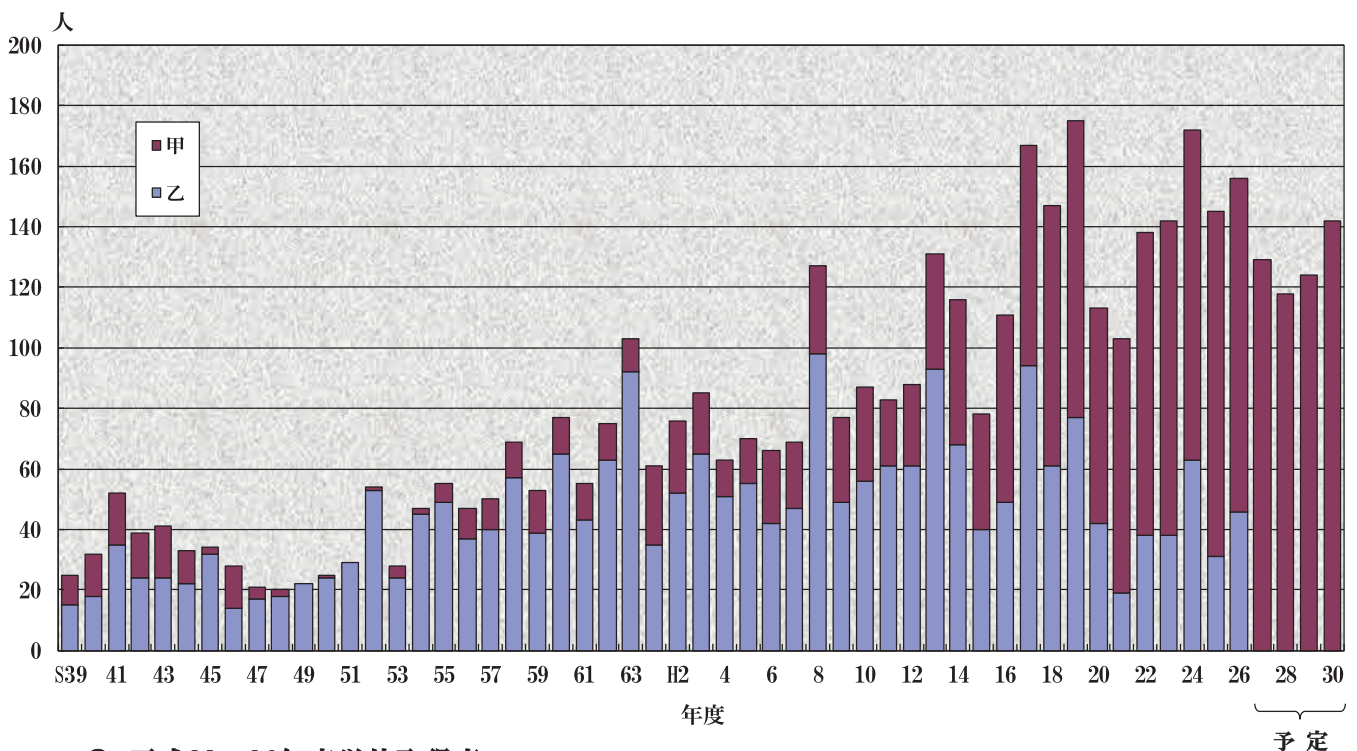
(単位:名)

区 分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	80	80	100	100	
” 入学者数 (”)	110	120	120	119	
博士 (医学) 甲 学位記授与数	103	108	114	110	平成26年度 累計 《1,650》
満期退学後学位取得者数	1	1	0	0	
博士 (医学) 乙 学位記授与数	38	63	31	46	《2,342》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	-	-	-	20	
” 入学者数 (”)	-	-	-	31	
修士 (医科学) 学位記授与数	-	-	-	30	《30》

順天堂大学博士 (医学) 学位授与者数推移

平成27年 3月

甲 1,650号 乙 2,342号 (計:3,992号)



◎ 平成23~26年度学位取得者

甲論文 (英文91.1%) 平均IF ≒ 3.08 乙論文 (英文78.7%) 平均IF ≒ 2.84

◎ トムソン・ロイター (2009-2013年) 論文引用度指数 国公立大学の内 第30位

◎ Scopus (2010-2014年) 1論文当たり被引用数 ” 第16位

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	4	10	10	10	
” 入学者数 (”)	6	10	7	9	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	1	1	2	6	《31》
満期退学後学位取得者数	0	1	1	2	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	0	3	4	3	《13》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
” 入学者数 (”)	66	57	53	48	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	53	55	48	49	《867》

大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	15	15	15	15	
” 入学者数	17	14	17	15	
修士 (看護学) 学位記授与数	16	14	14	14	《107》

13. 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位 (学士)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	89 (28)	94 (28)	90 (33)	111 (29)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《4,649》 累計 《5,057》
スポーツ健康科学部		330 (111)	328 (107)	322 (107)	323 (105)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《5,965》 累計 《11,172》
スポーツ科学科	スポーツ科学	187 (54)	188 (53)	188 (53)	185 (54)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	69 (27)	68 (26)	64 (25)	70 (25)	
健康学科	健康学	74 (30)	72 (28)	70 (29)	68 (26)	
医療看護学部 看護学科	看護学	196 (188)	211 (203)	194 (186)	197 (185)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《1,395》 累計 《6,183》
保健看護学部 看護学科	看護学	-	-	114 (111)	118 (110)	保健看護学部 《 232》 累計 《 232》

14. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業者数	
大学院	医学研究科	博士課程	大学・研究機関	85名	113名
			医療機関	20名	
			その他	8名	
		修士課程	大学・研究機関	14名	30名
			医療機関	1名	
			民間企業	4名	
	進学		9名		
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	5名	10名
			就職（民間企業・公務員等）	4名	
			その他	1名	
博士前期課程		教員・研究機関	16名	49名	
		就職（民間企業・公務員等）	21名		
		進学	5名		
		その他	7名		
医療看護学研究科		大学病院等医療機関・保健医療機関		13名	14名
	教員・研究機関		1名		
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院群）		82名	111名
		"（他大学医学部附属病院群）		4名	
		"（大学病院以外の臨床研修指定病院群）		24名	
		その他		1名	
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関		98名	323名
		就職（民間企業・公務員等）		169名	
		進学		36名	
		その他		20名	
	医療看護学部	本学医学部附属病院群		170名	197名
		本学以外の医療機関		19名	
		進学		7名	
		その他		1名	
	保健看護学部	本学医学部附属病院群		62名	118名
		本学以外の医療機関		50名	
		進学		2名	
		その他		4名	

15. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

[法人・大学]

26. 5. 17	第 333 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 21	第 34 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「最新のワクチン事情」
9. 11	第 334 回順天堂医学会学術集会「順天堂におけるロボット手術の展望」
27. 2. 21	第 35 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「ここまできた血管内治療の進歩」
3. 24	第 335 回順天堂医学会学術集会・教授定年退職記念講演会

[大学院医学研究科]

26. 6. 28	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 順天堂大学国際シンポジウム 「国際教養学のすすめ-グローバル時代を生き抜くがんプロフェッショナルの育成 を目指して-」
-----------	--

[順天堂医院]

26. 5. 31	第 13 回市民公開講座 「将来母になるために」～妊孕能温存のための卵子・卵巣凍結～ 「がんと就労」～病気を治療しながら働く～
7. 24	第 11 回がん研修会 「がん患者の栄養管理」「グリーフケア ～死別の悲しみをいやすために～」
10. 18	第 5 回医療連携を共に考える会 「江戸川区における特定健診・保健指導について」 「最新の化学療法の実際」「総合診療科について」
11. 13	第 12 回がん研修会 「早期胃がんの内視鏡診断 update」 「小線源治療（高線量率組織内照射）」
12. 6	第 14 回市民公開講座 「新しい抗がん剤、分子標的薬剤のはなし」「大切な人ががんになったら」
12. 19	第 1 回在宅医療を考える会 「在宅医療の治療方針－臨床倫理的アプローチ」
27. 2. 21	第 6 回医療連携を共に考える会 「葛飾区における認知症対策の現状」 「アルツハイマー病とレビー小体型認知症の診断と治療」 「災害医療と医療連携」

[静岡病院]

26. 5. 30	市民公開講座「おしっこに関するよろず相談」 ～50才以上の方の排尿の悩みにお答えします～
6. 19	第26回東部周産期研究会「出生前診断の基礎知識と現状（新型出生前診断と妊娠初期超音波）」「静岡県東部における墜落分娩の現状」
10. 23	第27回東部周産期研究会「出生前診断可能であった胎児動脈管早期閉鎖の2例と出生後診断に至った1例」「異なる経過をたどった動脈管早期閉鎖の3症例」
10. 31	市民公開講座「喫煙習慣と健康障害」～ご存知ですか？タバコの害～
27. 1. 26	市民公開講座「脳の病気を知ろう！」～脳卒中から脳腫瘍まで～
3. 19	第28回東部周産期研究会「妊産婦血栓症の予防法と管理」「当院における過去3年間に入院管理を行った先天性心疾患症例の検討」
3. 24	市民公開講座「胃がんは予防できる！」～ピロリ菌と胃がん～

[浦安病院]

26. 6. 4	第40回医療連携フォーラム 「認知症」「新規 大腸癌取扱い規約（第8版）の改訂ポイントについて」
6. 21	第69回市民公開講座「パーキンソン病のリハビリテーション」
7. 19	第70回市民公開講座「気をつけよう頭の怪我」
9. 20	第71回市民公開講座「更年期障害」
9. 24	第41回医療連携フォーラム「当院での糖尿病医療連携について」 「五十肩と肩関節脱臼の治療戦略」
10. 25	第72回市民公開講座「こどもの気になる症状：原因と治療について」
11. 13	第42回医療連携フォーラム「血液疾患の医療連携」「脳神経外科の紹介」
11. 15	第73回市民公開講座「糖尿病ってどんな病気？」
12. 4	地域医療セミナー「薬の飲み方について」
12. 6	第74回市民公開講座「パーキンソン病をあきらめないで！」
27. 1. 24	第75回市民公開講座「脳卒中の救急搬送について」「脳梗塞について」 「脳出血とくも膜下出血について」「脳卒中の看護について」
2. 21	第76回市民公開講座「五十肩と肩関節脱臼の治し方」
2. 25	第43回医療連携フォーラム「乳がんの最新治療」「頭頸部癌の治療について」

[順天堂越谷病院]

26. 4. 19	第 54 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「胃痛・胃もたれ」気になりませんか?
8. 2	第 55 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「ストレスとうつ病との関係ってほんとうは簡単じゃない」
9. 20	第 1 回リウマチ教室 「関節痛について」「抗リウマチ薬 (メトトレキサート) について」 「リウマチ患者さんの日常ケアの注意点」「生物学的製剤による治療について」
11. 22	第 56 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「統合失調症のリハビリテーション」ー歴史と実践ー
27. 3. 6	第 9 回 パーキンソン病教室 「パーキンソン病に対する脳深部刺激療法 (DBS) 」

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

26. 4. 26	第 1 回区民健康講座「高齢者に多い誤嚥性肺炎～こんな症状も肺炎のサイン～」
5. 31	第 2 回区民健康講座「漢方で治す腰痛」
6. 21	第 3 回区民健康講座「関節リウマチについて」
7. 19	第 4 回区民健康講座「認知症の薬物療法」
9. 27	第 5 回区民健康講座「脳卒中にならないために」
10. 20	第 6 回区民健康講座「その痛み・・・腰部脊柱管狭窄症では？」
11. 15	第 7 回区民健康講座「冬の皮膚トラブル：冬に多い皮膚病、肌の手入れのこつを知ろう」
12. 20	第 8 回区民健康講座「運動がもたらす健康効果」

[順天堂練馬病院]

26. 4. 26	区民健康医学講座「体の病気が脳に及ぼすストレス」
5. 29	医療連携フォーラム「禁煙について」「股関節疾患あれこれ」
6. 28	区民健康医学講座「夏に多いこどもの病気と事故～夏を楽しく過ごすために～」
7. 17	医療連携フォーラム「HIV 感染症の現状と治療」 「限局性前立腺癌に対する治療～順天堂大学練馬病院泌尿器科の現状」
9. 18	医療連携フォーラム「大腸癌化学療法の現状と未来～分子標的治療薬の位置付け～」
10. 18	区民健康医学講座「肝機能障害と言われたら～最新の治療は?～」※練馬区との共催
11. 15	区民健康医学講座「身近な病気・高血圧について勉強しましょう」※練馬区との共催
11. 20	医療連携フォーラム「子宮体がんと腹腔教手術～微小侵襲手術の適応と限界～」 「新しい放射線治療」
12. 21	区民健康医学講座「糖尿病と加齢」※練馬区との共催
27. 1. 15	医療連携フォーラム「小児の感染症とワクチン」 「小児における低侵襲外科治療の現状」
2. 28	区民健康医学講座「今のうちに知ろう！認知症の話」
3. 19	医療連携フォーラム「ERAS・術後早期回復に向けた取り組み」 「我が国の失明原因の変化」

[さくらキャンパス]

26. 10. 26	生涯学習公開講座「陸上教室」
11. 16	生涯学習公開講座「レクリエーション教室」
11. 23	生涯学習公開講座「サッカー教室」
11. 30	生涯学習公開講座「ダンス教室」
27. 2. 28	国際シンポジウム「アダプテッド・スポーツ（障害者スポーツ）とつながる力」
3. 26	浦安市公開講座「なわとび教室」

[浦安キャンパス]

26. 7. 26	オープンスクール「国際保健論」
7. 27	オープンスクール「子どもと家族を育む小児看護学」
8. 16	オープンスクール「呼吸リハビリテーションの進歩と実際」
9. 30	市民公開講座 順天堂大学医療看護学部・浦安市共催 「“今どき感染症”の正しい理解と対応～デング熱の対処術！～」

[三島キャンパス]

27. 3. 15	第5回順天堂大学保健看護学部公開講座 「高めよう!!健康力!!」
-----------	----------------------------------

[国際交流センター]

26. 12. 2	第5回アジア太平洋メディカルフォーラム 「病院の国際認証（JCI）」「医学部の国際認証（WFME）」について
-----------	---

[男女共同参画推進室]

27. 3. 7	第4回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム 「医学分野におけるサステナブルダイバーシティの実現」
----------	---

16. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄：開催年月日	右欄：活動名
----------	--------

[本郷・お茶の水キャンパス]

26. 4. 13	順天堂交響楽団定期演奏会（文京シビックホール）
7. 19	医学部山岳部 夏山診療活動（長野県北アルプス燕岳燕山荘）（～8月24日）

[順天堂医院]

26. 5. 13	都立文京盲学校宿泊行事医師派遣（5月13日～16日、7月8日～10日）
6. 3	都立北特別支援学校病院訪問学級遠足医師および看護師派遣
9. 4	文京福祉センター宿泊訓練医師派遣（～5日）
9. 4	文京区心身障害者・児レクリエーション事業医師および看護師派遣（9月6日、9日）
9. 29	救命救急士養成課程研修会講師派遣（9月29日、10月10日、28日、29日）
10. 22	都立清瀬特別支援学校宿泊行事医師派遣（～24日）
10. 22	都立高島特別支援学校宿泊行事医師派遣（～24日）
11. 8	癒しの会「順天堂交響楽団」1号館アトリウム
11. 27	NPO 法人ねむの樹主催健康セミナー出前授業講師派遣（千葉県立松尾高校）
11. 29	市川市主催「男性の健康講座」講師派遣（南行徳保健センター）
12. 13	練馬区医師会主催練馬区糖尿病都民公開講座講師派遣（練馬区役所）
27. 2. 3	足立区主催難病講演会講師派遣（足立区竹の塚保健総合センター）

[静岡病院]

26. 5. 12	ふれあい看護体験（静岡県看護協会主催、一般市民対象1名参加） （5月16、22日も開催、両日とも1名参加）
6. 9	高校生職場体験 田農ゼミナール（～11日）（1名参加）
8. 4	中学生職場体験（～6日）（伊豆の国市立長岡中学校3名参加）
8. 18	高校生1日体験ナース（～19日）（18日27名、19日29名参加）
10. 21	中学生職場体験（～22日）（伊豆の国市立菫山中学校3名参加）

[浦安病院]

26. 5. 17	まちの保健室に看護師派遣（千葉県看護協会主催、～翌年2月21日計9回）
6. 16	ふれあい看護体験（千葉県看護協会主催、高校生6名受入、6月18日も開催）
8. 5	浦安市内の中学生（ふるさとうらやす立志塾生）に対し防災研修を実施
11. 5	浦安市夜間路上禁煙運動駅前キャンペーンに参加（新浦安駅前）
11. 19	浦安市学校等における医療的ケア検討委員会に看護師2名派遣 （12月12日、1月28日も派遣）

[順天堂越谷病院]

27. 2. 21	大袋地区コミュニティ推進協議会主催 「健康に関する講演会」の講師（看護師）派遣
-----------	---

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

26. 5. 27	一日看護体験学習（看護）（都立深川高校 1名参加）
11. 5	中学生職場体験（看護）（岡山県立岡山操山中学校 5名参加）
11. 30	第34回江東シーサイドマラソン大会（救護依頼）
27. 1. 28	中学生職場体験（看護）（江東区立第3砂町中学校 1名参加）
2. 22	東京マラソン 2015（救護依頼）

[順天堂練馬病院]

26. 9. 4	中学生職場体験（練馬区立南ヶ丘中学校 2名参加）
7. 30	東京都ナースプラザ主催 1日看護体験（6名参加）（他8月1日の2日間開催）
8. 9	C-cubeプロジェクト（練馬区南田中小学校・石神井東小学校 37名参加）
11. 26	中学生職場体験（練馬区立光が丘第二中学校 1名参加）
12. 19	病院見学（広尾学園高等学校 4名参加）

[さくらキャンパス]

26. 4. 13	順天堂大学陸上競技記録会（中学生から一般、4月から3月まで全8回開催）
4. 13	順天堂大学体操教室（4月から3月まで毎週日曜日開催）
4. 15	順天堂大学バレーボール教室（4月から1月までの毎週火曜日開催）
5. 31	文京ジュニアアスリートアカデミー開校（月2回、公開講座年2回、記録会参加）
6. 6	第66回啓心寮祭（～8日）
7. 5	白井市民大学講座 健康社会学ゼミナール学生と市民大学受講生との交流
7. 12	印西市市民アカデミー
7. 28	千葉県高等学校校長会による大学訪問
10. 6	成田市進学支援プログラム（～1月31日）
10. 25	さかえスポーツフェスタ（陸上）（11月22日 サッカー、1月24日 体操）
12. 5	介護・寝たきり（ロコモ）予防のための運動教室（～3月8日）
27. 1. 19	文京区オリンピック・パラリンピック推進校（文京区立駕籠町小学校）への体操教室
2. 4	文京区体力向上アドバイザー・指導員派遣（区立小学校全20校）（～3月）
2. 15	成田市中学校バスケットボール教室

[浦安キャンパス]

26. 5. 23	ごみの散乱防止と資源ごみの再資源化普及啓発キャンペーンに参加
6. 10	自転車無盗難推進キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
7. 12	印西市市民アカデミー講義「大震災後の被災者の健康管理」
7. 16	夏季防犯キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5に参加
8. 26	福島でのテディベアクリニックサークル活動 被災地ボランティア「遊びの教室」
8. 29	うらやすこども大学 市内在住の小学4～6年生55名に「からだの不思議」をテーマに生化学と看護学を講義
10. 10	喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン 駅前での啓発活動に学生が参加
10. 12	高洲公民館文化祭に参加（ダンスサークル）
10. 15	浦安市立高洲北小学校2年生の「高洲の町探検」課外授業で医療看護学部見学

10. 18	第 24 回順華祭「順風満帆」(～19 日)
10. 19	自転車盗難防止キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 に参加
10. 31	高洲北小学校地区児童育成クラブ(学童保育)との交流活動 (ハロウィン仮装をした子供たちによるキャンパス訪問)
11. 12	千葉県防犯ボランティア交流大会 司会進行役として学生が参加協力
11. 16	2014 認知症メモリーウォーク・千葉 in 浦安に高齢者看護学教員がボランティア参加
12. 18	歳末特別警戒防犯活動・冬の交通安全運動合同キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 に参加
27. 1. 6	白井市民大学校講座「大地震後の健康管理～どんな人でも乗り越えていくために～」
4～12 月	海園の街保育園子育て支援センターハミングにて学生が育児支援、育児相談、身体測定等の補助を実施。(毎週火曜日)

[三島キャンパス]

26. 4. 29	26 年度第 1 回大場川クリーン活動(リバーフレンドシップ制度に基づく学生ボランティア活動、26 年度は 6 回実施)
8. 19	富士山御殿場口新 5 合目「マウントフジトレイルステーション」富士山環境保全活動参加
9. 5	「みしま教養セミナー(順天堂大学コース)」(三島市主催) 市民対象講習会を 5 名の教員により全 5 回開催
9. 6	静岡県ふじのくに健康長寿サミット参加
9. 12	三島市「自殺予防週間」キャンペーン協力(三島駅前での呼びかけ)
10. 2	ふじ 33 アプリ(「運動・食生活・社会参加」の 3 要素を盛り込んだ県独自の生活習慣改善プログラム)実践教室開催
10. 25	第 5 回順咲祭「繋 ～伝えていこう仁のこころ～」(～26 日) 地元住民が多数参加。三島市障がい者支援センターの自主生産品販売ブース設置。
11. 2	ベビー&キッズイベント保健師による健康相談参加(県総合健康センター)
11. 5	東京オリンピック・パラリンピック競技大会 <連携大学地域巡回フォーラム「東海ブロック大会」in 愛知>参加
11. 23	みしま秋まつり『三島フードフェスティバル』市民の健康チェックイベント参加
11. 29	キャンドルナイト三島参加(温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動)
11. 30	三島市大宮町 3 丁目子供会(子供は地域の宝事業における施設利用協力)
12. 19	クリスマスキャロル(静岡病院)病棟・病室訪問
27. 1. 8	「看護援助論」演習で地域の方々が模擬患者として参加
1. 22	「公衆衛生看護活動論 I」演習で地域の方々が教育ボランティアとして参加
2. 15	第 8 回伊豆マラソン大会 学生・教職員ランナー出場、救護班スタッフ参加
2. 20	三島ロータリークラブ寄贈による金木犀・三島桜の植樹祭
その他の活動	三島市高齢者福祉及び介護保険運営懇話会委員派遣 三島警察署協議会委員派遣 三島市「ガーデンシティみしま推進会」参画 地元住民の早朝ウォーキング、休日テニスなどの施設貸出 学校見学受入れ (県立松崎高校、県立土肥高校、富士市立富士中学校、富士市立吉原第三中学校)

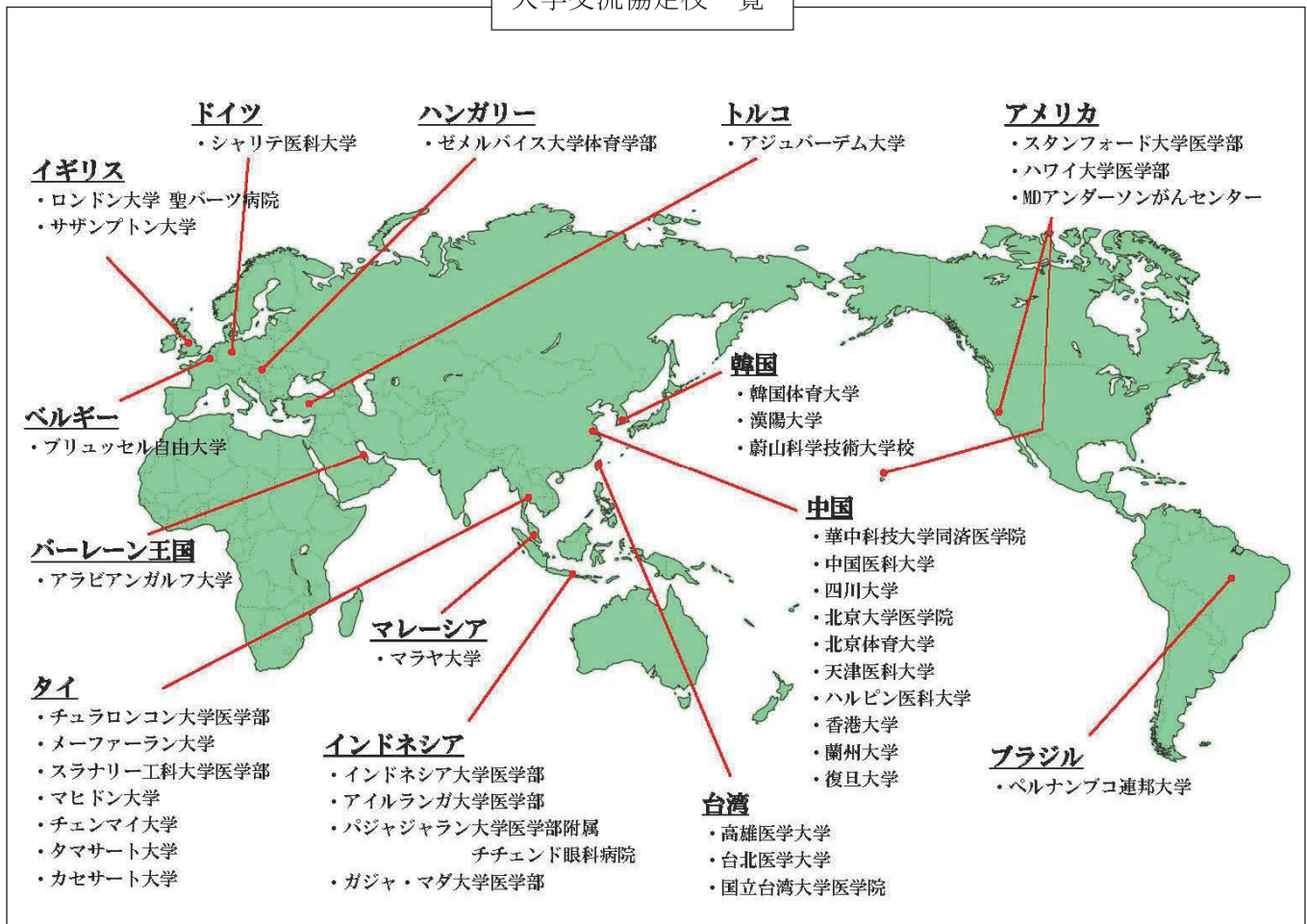
17. 国際交流活動

平成 26 年度は教育・研究を通じた様々な国際的な取り組みが行われました。

【大学交流協定について】

今年度は新たに MD アンダーソンがんセンター、蘭州大学、カセサート大学、蔚山科学技術大学、アジュバーデム大学、復旦大学、ペルナンブコ連邦大学と大学交流協定を結び、交流協定締結校は世界 14 カ国、合計 39 校となりました。

大学交流協定校一覧



【留学生の研修・交流活動について】

留学生の受け入れは、36ヶ国・地域、234名でした。留学生同士の交流を図るとともに、日本人学生や教員との交流も積極的に推進しております。今年度は、平成 26 年 11 月 12 日、順天堂大学 センチュリータワーにおいて、東京医科歯科大学の留学生・教職員を招待して留学生交流会を開催しました。当日は日本人学生や教職員も数多く参加し、普段接する機会が少ない留学生との交流を積極的に楽しみました。小川秀興理事長・東京医科歯科大学田上順次理事による開会のご挨拶の後、順天堂大学オーケストラ部・ジャズ部による生演奏の中、食事と歓談を楽しみました。留学生の日本語 30 秒スピーチ、日本人学生の英語 30 秒スピーチも行われ、相互理解を深めるよい機会になりました。

(海外留学生等国別受入れ状況)

国名／地域名	人数	国名／地域名	人数	国名／地域名	人数
中国	80名	イタリア	2名	スペイン	1名
タイ	31	オーストラリア	2	ネパール	1
台湾	24	シンガポール	2	パラグアイ	1
インドネシア	18	ニュージーランド	2	ブルガリア	1
韓国	9	バングラデシュ	2	ベトナム	1
イギリス	7	ブラジル	2	ホンジュラス	1
フランス	7	アラブ首長国連邦	1	ポーランド	1
エジプト	6	イラン	1	マレーシア	1
インド	5	グルジア	1	ラオス	1
トルコ	5	コンゴ	1	ルーマニア	1
ドイツ	5	サウジアラビア	1		
アメリカ	4	ザンビア	1		
ミャンマー	4	スイス	1	合 計：36カ国	234名

※博士研究員、リサーチアシスタント、協力研究員、研究支援者を含む

【学術交流について】

○ MD アンダーソン・理化学研究所と連携の合意

平成 26 年 4 月 21 日、順天堂大学はアメリカ・テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター、理化学研究所と、3 機関の包括的な連携・協力関係の推進のための基本協定を締結しました。今後、がんの診断や治療に関わる研究と新しい技術のがん医療への応用、人材交流面での連携・協力をより一層推進し、がん個別治療研究開発拠点の構築を目指していきます。



テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター・理化学研究所との調印式の様子

○ 第 5 回アジア太平洋メディカルフォーラム

平成 26 年 12 月 2 日、第 5 回アジア太平洋メディカルフォーラムが開催されました。「病院の国際認証 (JCI) について」と「医学部の国際認証 (WFME) について」というテーマのもと、聖路加国際大学情報システムセンター 嶋田元センター長及び本学 武田裕子教授から基調講演が行われ、代田浩之教授、山高篤行教授、清水俊明教授、内藤俊夫先任准教授、井田豊太郎事務次長、東京医科歯科大学 奈良信雄医歯学教育システム研究センター長によるパネルディスカッションが開催されました。



第 5 回アジア太平洋メディカルフォーラム

18. 当期事業の主な概要及び施設設備の整備状況

【法人・大学】

創立 175 周年記念事業

平成 26 年 4 月 10 日に日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典を有山登記念館講堂にて執り行いました。天皇皇后両陛下のご親臨を賜り、ご来賓として森喜朗元内閣総理大臣、高久史磨日本医学会会長よりご祝辞を頂戴しました。厳かな雰囲気の中、無事記念式典を終了することが出来ました。また、記念式典後に野依良治理化学研究所理事長（当時）による記念講演が行われ、順天堂の歴史に残る、英知に溢れた 1 日となりました。

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業

(1) B 棟Ⅱ期（低層棟）建設

2 号館を解体し、B 棟Ⅱ期（低層棟）工事に着手し、平成 28 年 3 月竣工に向けて、順調に建設工事が進行しています。

(2) C 棟建設

平成 26 年 7 月に 3 号館解体工事に着手し、平成 28 年 7 月竣工に向けて順調に建設工事が進行しています。

(3) D 棟建設

平成 26 年 5 月下旬に完成し、地下 1 階の最新鋭の放射線治療機器（リニアック）、地上階の病院事務機能は順調に稼働しています。

(4) 横断歩道橋架け替え工事

1 号館と B 棟Ⅱ期（低層棟）間に接道する横断歩道橋架け替え工事を平成 26 年 11 月に着手し、既存歩道橋の撤去を終え、平成 28 年 4 月開通に向けて順調に工事が進行しています。

(5) (仮称) 油坂上空通路設置工事

B 棟と大学施設を結ぶ順天堂専用通路の平成 28 年 4 月開通に向け、許可申請手続きを進めています。

(6) センチュリータワー改修工事

平成 27 年 2 月下旬、電子カルテリプレースに合わせ、堅牢で安全性の高いサーバー室が完成しました。

(7) (仮称) 新研究棟建設

7 号館、8 号館内にある研究・教育機能の移転計画を進め、新研究棟の実施設計候補会社と建設に向けた調整を進めています。

(8) (仮称) 第 2 教育棟改修工事

国際教養学部の開設に合わせて改修工事を行い、平成 27 年 2 月下旬に完成しました。

(9) 新教職員寮（レスポワール湯島）建設

平成 26 年 1 月より工事に着手し、平成 27 年 7 月竣工に向け順調に工事が進行しています。

(10) 不動産の取得

将来のキャンパス整備に必要な不動産の取得を行いました。

アジア大学ランキング 2014、順天堂大学が私学トップのランキングに

本学は、英高等教育情報誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (The Times Higher Education) が発表したトルコ・中東を含めたアジア諸国の大学ランキングにおいて第63位、日本の私学でトップとなりました。本ランキングは、トムソン・ロイターにより評価され、世界大学ランキングと同じ評価方法に基づき「教育」「国際性」「公的研究費」「産学連携研究・開発による収入、間接経費」「研究論文、IF (インパクトファクター)」「論文引用、CI (サイテーションインデックス)」等の項目をそれぞれ評価し、その総合点により算出されたポイントを基にランキングされます。

本学が 100 位以内にランキングされたことは、国内有数の医学部大学院を中心とした日本最大規模の病床数を有する附属病院群の豊富な臨床実績に基づく国際的トップレベルでの基礎・臨床研究論文が高く評価された結果であり、今後も国内のみならず、国際的にも評価される健康総合大学院大学として「国際化」と「教育力」「研究力」「臨床力」等を更に強化・充実していきます。

Times Higher Education Asia University Rankings Top 100

2013年 日本の22校

日本	大学名	アジア	世界
1	東京大学	(1)	(27)
2	京都大学	(7)	(54)
3	東京工業大学	(13)	(128)
4	東北大学	(15)	(137)
5	大阪大学	(17)	(147)
6	名古屋大学	(26)	(201-225)
7	首都大学東京	(36)	(251-275)
8	東京医科歯科大学	(39)	(276-300)
9	筑波大学	(42)	(301-350)
10	北海道大学	(44)	(301-350)
11	九州大学	(48)	(301-350)
12	慶應義塾大学	(53)	(351-400)
13	早稲田大学	(57)	(351-400)
14	順天堂大学	(60)	—
15	広島大学	(67)	—
16	大阪市立大学	(69)	—
17	神戸大学	(73)	—
18	千葉大学	(75)	—
19	東京農工大学	(81)	—
20	岡山大学	(85)	—
21	金沢大学	(96)	—
”	横浜国立大学	”	—

2014年 日本の20校

日本	大学名	アジア	世界
1	東京大学	(1)	(23)
2	京都大学	(7)	(52)
3	東京工業大学	(13)	(125)
4	大阪大学	(15)	(144)
5	東北大学	(16)	(150)
6	首都大学東京	(27)	(201-225)
7	名古屋大学	(29)	(201-225)
8	東京医科歯科大学	(39)	(276-300)
9	筑波大学	(42)	(301-350)
10	北海道大学	(48)	(301-350)
11	九州大学	(50)	(301-350)
12	順天堂大学	(63)	—
13	早稲田大学	(64)	—
14	大阪市立大学	(71)	—
15	慶應義塾大学	(72)	—
16	広島大学	(74)	—
17	神戸大学	(88)	—
18	岡山大学	(94)	—
19	金沢大学	(96)	—
20	千葉大学	(98)	—

※ 日本の私立大は、606校中 3校のみ

【出典：英国教育専門誌 (タイムズ・ハイヤー・エデュケーション：THE) ，平成26年6月20日 (金) 産経新聞】

国際教養学部開設

平成 26 年 12 月 18 日に本学 5 番目の学部となる国際教養学部国際教養学科 (定員 120 名) の設置が文部科学大臣により認可されました。英語を中心とした高いコミュニケーション能力とリベラルアーツを身につけ、医療・医学・スポーツ・健康等の各分野において国際社会で活躍できる人材 “グローバル市民” の養成を目指します。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会大学連携協定の締結

平成 26 年 6 月 23 日に一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との間で平成 32 年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、相互に連携・協力するための協定を結びました。今後、オリンピック選手の育成からサポート、キャンプ地誘致活動への協力・支援等を行っていきます。

【本郷・お茶の水キャンパス（大学院医学研究科・医学部・国際教養学部）】

「研究医養成特別入学試験」及び「国際バカロレア入学試験」の新設

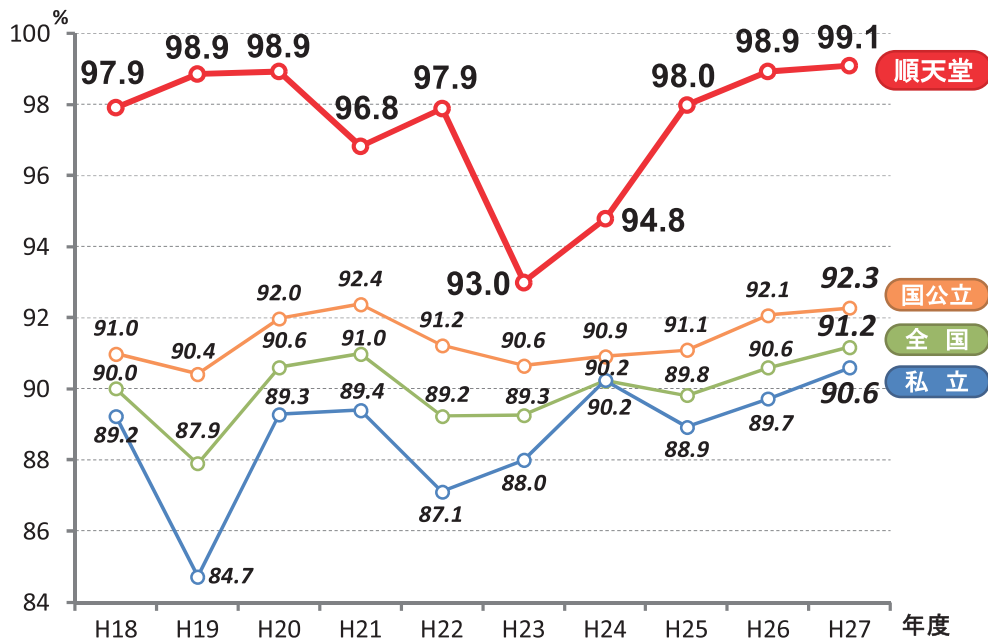
平成 27 年度医学部入学試験より、国際社会で幅広く活躍する医師を目指す者を対象とした入学試験を拡充し、A0 入試として「研究医養成特別入学試験」及び「国際バカロレア入学試験」を新設しました。

医学部入学定員増への対応

平成 26 年 7 月 23 日付文部科学省高等教育局長通知による「地域の医師確保等の観点からの平成 27 年度医学部入学定員の増加について」を受け、本学では、千葉県との連携を深め地域医療に貢献する医師養成の観点から、入学定員の増員計画（千葉県地域枠 3 名）を申請し、平成 26 年 10 月 31 日に文部科学省から認可されました。これにより、平成 27 年度の医学部入学定員が 124 名から 127 名に増員されました。

医師国家試験合格率推移

今年度の第 109 回医師国家試験は、学生の努力と卒業支援委員会を中心とした全教員による指導のもと、合格率 99.1% で全国 1 位でした。



過去 3年間平均 … 第2位 / 80校中(国公立大学)
 過去 5年間平均 … 第3位 / “
 過去10年間平均 … 第2位 / “

国際教養学部の教職課程の認定

平成 27 年 2 月 4 日付けにて新設の国際教養学部が教員の免許状授与の所要資格を得させるための学部学科等の課程として認定されました。

- <免許状の種類> 中学校教諭一種免許状（英語）
- 高等学校教諭一種免許状（英語）

国際教養学部の講義棟の整備

主として国際教養学部の講義・演習を行う講義棟（仮称：第2教育棟）が整備されました。144名収容可能な大教室をはじめ、少人数教育を充実させるための演習室・外国語学習室が整備されています。2階には語学学習に必要な自学自習用教材・文献検索用パソコン・リスニングブース・カウンセリングブース等を備えた言語学習センターを設置しています。

教育研究施設・設備の充実・文部科学省採択事業

- ・平成26年度文部科学省「科学研究費助成事業」の採択件数・配分額は4年制私立大学569校中第5位となりました。今後も全学部が協力連携して、教育・研究活動を推進し、科学研究費助成事業の申請・採択数の向上に努めます。
- ・文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」にスポーツロジックセンターの『骨格筋機能に着目した統合的な介護予防法開発プロジェクト』、ゲノム・再生医療センターの『再生技術を用いた生活習慣病の次世代型統合的研究基盤の構築』、女性スポーツ研究センターの『女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートコンディション管理に関する研究基盤構築』の3事業が採択されました。
- ・文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」に申請した、「質の高い形態系実習を可能とするマルチスペクトルイメージングシステム」「全自動キャピラリーウェスタンブロット装置一式」が採択され、教育・研究設備が整備されました。
- ・文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の支援対象校に選定され、「学生の個別ニーズに対応した形態学教育支援のための生物試料三次元構造解析システム」の導入、「順天堂大学センチュリータワーICT化教育基盤整備事業（第7期事業）」を行いました。
- ・文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」（平成24年度採択）が7大学（順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）の連携のもと3年目を迎えました。各種シンポジウム、市民公開講座、ICT連携講義、FD研修会、臨床研究研修会等の様々な活動が行われました。
- ・平成25年度から26年度にかけてCOI-T（トライアル）拠点として採択された文部科学省「研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム」の活動成果の評価が実施され、本学と立命館大学の連携拠点がCOI拠点として昇格することが決定しました。

連携大学院制度の推進

平成24年度から連携大学院制度をスタートした最先端がん臨床研究コース（国立がん研究センター）に加え、平成26年度より、高度専門医療研究コース（国立国際医療研究センター）およびアレルギー・臨床免疫研究コース（国立病院機構相模原病院）を新たに開設しました。11月には、連携大学院制度の更なる推進を図るべく、国立がん研究センターとの共催による連携大学院シンポジウムを開催しました。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

- ・7大学（順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）連携の下、平成24年度に採択された「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（文部科学省）」が3年目を迎えました。各種シンポジウムや市民公開講座、ICT連携講義、FD研修会（本学主催・1泊2日）、臨床研究研修会（本学主催・センチュリータワー）等様々な活動が行われました。会議関係では、連携7大学運営連絡会、運営委員会（学内）を定期的に開催、11月には外部評価を受審して高い評価を頂きました。

【さくらキャンパス】

- ・平成 26 年 8 月 1 日に女性スポーツ研究センターを設立しました。今後 5 年間は「女性アスリートコンディション管理に関する研究基盤構築」をテーマとし、順天堂医院及び浦安病院に開設した「女性アスリート外来」と連動して女性アスリートの支援を行っていきます。
- ・文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」及び「私立学校施設整備費補助金」の採択により「二重エネルギー骨 X 線吸収測定一体型装置」「さくらキャンパス ICT 教育基盤整備事業」等の教育・ICT の施設設備の整備・拡充を行いました。
- ・陸上競技場の全面改修工事を行いました。今回の整備により、各種陸上競技国際大会の各国代表チームの誘致等を積極的に展開することが可能となりました。平成 27 年 8 月に開幕する世界陸上競技選手権大会北京大会に参加する米国代表チームの合宿地の一つとして決定しました。また、同大会に参加するオランダ・ベルギー両チームに対してはトレーナーや陸上競技部の学生・大学院生を派遣しトレーニングサポートを行う予定です。
- ・キャンパス内各施設（校舎・運動施設出入口）のバリアフリー整備工事を行いました。
- ・新設予定の新体操競技場の設計に着手しました。
- ・就職状況については、教員採用試験で現役学生 25 名、既卒者、補欠合格者及び私立専任教員を含めて 133 名と前年を大きく上回る合格者を輩出しました。また企業就職希望者についても 99.3%と高い内定率を維持しています。

【浦安キャンパス】

- ・大学院医療看護学研究科は、看護学専攻（博士後期課程）への課程変更が認可され、平成 26 年 4 月に開設され、11 名が入学しました。
- ・医療看護学研究科修了生 2 名が専門看護師（CNS）認定試験に合格しました。（慢性疾患看護分野 1 名、小児看護分野 1 名。）

これまでの CNS 合格者数累計

慢性疾患看護分野	9 名	小児看護分野	2 名
がん看護分野	5 名	感染看護分野	2 名
老人看護分野	1 名		
合 計		19 名	

- ・国家試験の合格率は、看護師 99.5%、保健師 100.0%、助産師 100.0%となり、全国平均を大きく上回りました。
- ・平成 27 年 3 月 26 日に医療看護学部第 17 回国際交流講演会が開催され、「世界の女性のメンタルヘルスとオーストラリアにおける発展」をテーマにジーン・ヘイルズ研究部長でモナッシュ大学公衆衛生&予防医学部教授であるジェーン・フィッシャー博士の講演が行われました。
- ・平成 26 年 7 月 26・27 日、8 月 16 日に「国際保健論」「子どもと家族を育む小児看護学」「呼吸リハビリテーションの進歩と実際」をテーマとしてオープンスクールを開催しました。
- ・平成 26 年 8 月 29 日に浦安市と浦安市内に立地する順天堂大学、明海大学、了徳寺大学が協力し実施している「うらやすこども大学」が本学にて開校されました。浦安市内在住の小学 4 年生から 6 年生 55 名に対して「からだの不思議」をテーマに生化学と看護学の講義を行いました。
- ・平成 26 年 9 月 30 日に浦安市民プラザにて順天堂大学医療看護学部公開講座「“今どき感染症”の正しい理解と対応～デング熱の対処術！～」を浦安市と共催で開催しました。

- ・文部科学省「私立学校施設整備費補助金『国際連携を目指した周産期・小児救急看護教育のための ICT 環境整備事業』」に採択されました。分娩介助・産科救急・妊婦ケア教育と乳児の集中治療・ケア等周産期医療・小児救急医療についての様々な状況をリアルに再現した高度なシミュレーショントレーニングが行える学習環境を整備し、また、それらの学習体験を学生が共有するだけでなく、e-ラーニングを活用した振り返り授業を行い、多面的に経験値が積み上げられる ICT 教育システムを整備しています。

【三島キャンパス】

- ・平成 26 年度より、大学院医療看護学研究科のサテライトキャンパスとして、三島キャンパスにおいても博士前期課程の講義が開始しました。研究指導教授 5 名を含め、計 11 名の教員が研究科併任教員として三島、本郷、浦安キャンパスで講義を担当し、本郷、浦安キャンパスから遠隔授業を行い、大学院生にとって大変便利になりました。
- ・平成 26 年 6 月 6 日に平成 26 年度三島市環境美化推進大会が三島市文化会館で開催され、日ごろから各地域で環境美化活動等を実践し、その普及・啓発に貢献している団体・個人が顕彰され、本学部学生生活動の「大場川クリーンズ (DRC)」が表彰されました。DRC は、三島市を流れる大場川の清掃ボランティアグループで、年 5~6 回活動し、地域の方々との交流も積極的に行っています。
- ・平成 26 年 6 月 13 日に奈良で開催された学会のゲストスピーカーとして招聘されたチューリッヒ大学医学部放射線科教授 Thomas Pfammatter 先生にご来訪頂き、2 年生「医療英語」受講生を対象に特別講義が開講されました。
- ・平成 26 年 9 月より三島市主催の「みしま教養セミナー (順天堂大学コース)」が全 5 回開講されました。5 名の先生方が、専門分野を中心に、市民の方々に解りやすく講演を行い、122 名が受講しました。
- ・植栽の成長スピードが遅く、頻繁な灌水が必要であったため、キャンパス内に井戸を掘削し、地下水を安定的に植栽へ供給出来るよう配管工事をし、平成 26 年 11 月に工事が完了しました。
- ・平成 27 年 2 月 20 日に三島ロータリークラブから寄贈された金木屋と三島桜の苗木の植樹を小川理事長出席のもとに行いました。金木屋は、樹齢 1200 年を越える国の天然記念物の指定を受けた三島大社の金木屋の孫枝です。
- ・平成 27 年 3 月 15 日に第 5 回保健看護学部公開講座「今回は高めよう!!健康力!!」を開催しました。
- ・「順天堂大学と三島市との連携協働に関する協定(平成 26 年 1 月締結)」に基づき、大規模災害発生時にキャンパスを救護所として提供する覚書締結(平成 27 年 4 月 1 日開始)に向けて、三島市との協議を開始しました。
- ・国家試験結果は合格率が、看護師 96.6%、保健師 100.0%となり、全国平均を大きく上回りました。

【順天堂医院】

- ・キャンパス・ホスピタル再編事業計画の 3 号館建替工事に伴い、売店・理容室等の移転を行い、平成 26 年 6 月 30 日付けで 3 号館 (昭和 39 年建設) を閉鎖しました。
- ・平成 26 年 10 月より婦人科、整形外科・スポーツ診療科を中心に「女性アスリート外来」の運営を開始しました。女性アスリートが健康で長期的に高い競技力を継続できるよう、医学的側面から総合的に支援することを目的としています。必要に応じて、総合診療科、糖尿病・内分泌内科、メンタルクリニック、リハビリテーション科とも連携を取りながら

診療を行います。

- ・平成 26 年 11 月にスポーツロジメディカルセンターを開設しました。障害アスリート、女性アスリート、スポーツ愛好者等、あらゆるレベルのアスリートを対象に、当院のスポーツ医学関連の診療科が連携・協働し、全面的なサポートを目的としています。(参加診療科：整形外科・スポーツ診療科、総合診療科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、小児科・思春期科、眼科、メンタルクリニック、放射線科)
- ・平成 26 年 11 月 24 日に国内 2 例目となる 6 才未満の子からの脳死下臓器提供（摘出）手術が行われ、小児外科をはじめ手術室、病棟等各部門の協力により無事に終了しました。提供された臓器は各病院に搬送され、5 名の患者に移植手術が実施されました。
- ・平成 27 年 1 月に国際サッカー連盟（FIFA）より、当院と日本スポーツ振興センター（JSC）が管理・運営する国立スポーツ科学センターが「FIFA メディカルセンター（FIFA Medical Centre of Excellence）」に認定されました。これは、サッカー選手の障害予防にフォーカスし、選手の健康を増進することを目指し、FIFA 等の調査・研究のミッションをサポートし、選手や組織との関係を育てることやサッカー医学に関する次世代の医療的な専門家や科学者を教育・育成すること等の機能を保有した医療施設を FIFA が認定するものです。
- ・国際的な医療機能評価の認証を受けるため JCI（国際病院評価機構）本部による模擬審査が行われました。(実施期間平成 27 年 3 月 23 日～4 月 2 日のうちのべ 9 日間) 病院機能管理室を中心に各部署が協力して対応しました。期間中は 3 名のサーベイヤーにより細部にわたって調査が実施されました。今回の模擬審査結果を受け、本審査に向け継続して対応を進めていきます。

【静岡病院】

- ・平成 26 年 6 月に病院敷地の隣接市道 366.93 m²の廃道地が伊豆の国市より譲渡を受けました。更に同年 10 月には病院東側の民地 436.88 m²を取得し、病院既存所有地と併せて、新棟建設の計画予定地とします。
- ・平成 26 年 8 月にドクターヘリの広域運用を目的とし、静岡県・神奈川県・山梨県の 3 県でのドクターヘリによる救急搬送を相互に補完し合う広域連携協定を締結し、運用を開始しました。
- ・平成 26 年 8 月に地域医療連携システムを導入し、医療機関との連携がより円滑になり、予約制の推進、患者の利便性、患者待ち時間の短縮が図れました。
- ・平成 26 年 9 月に PACS（医療画像保存システム）の拡充による手術室内での画像参照開始を基点にし、同年 10 月より院内全域をフィルムレス化に移行しました。これにより、患者待ち時間の短縮等の効率化及び省力化による経費削減等の効果を発現させ、病院機能の向上を図りました。
- ・平成 27 年 1 月に中央材料室に過酸化水素低温プラズマ滅菌器を 1 台追加し、3 台体制にて運用することにより、手術室運用の効率化が図れました。
- ・平成 27 年 3 月 26 日付けにて、静岡県保健医療計画に基づく 25 床の増床開設（変更）許可が下り、平成 27 年度末までに院内改修増床工事を完了する予定です。

【浦安病院】

- ・3 号館建築工事に伴い、平成 26 年 4 月 20 日より自動分析装置等検査部門の一部（病院内で実施すべき輸血・緊急検査を除く）及び図書室が病院近隣施設の今川 F 棟に移転しました。
- ・平成 26 年 5 月 1 日より千葉県内の広域から搬送される四肢や指の切断例等に対する高度外

傷修復治療を円滑に行うことを目的に、千葉県内では初めてとなる整形外科、形成外科、救急診療科のチーム医療による「外傷・再建センター」を設置しました。

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価一般病院 2<3rdG : Ver. 1.0>」の訪問審査を平成 26 年 1 月 29 日、30 日に受審し、平成 26 年 5 月 2 日付で認定を受けました。
- ・平成 26 年 10 月 1 日より女性アスリートが健康で長期的に高い競技力を継続できるよう医学的側面から総合的に支援するための専門外来として「女性アスリート外来」を設置しました。
- ・3 号館建築工事に伴い、平成 27 年 2 月 1 日より今川駐車場を 53 台分拡充し、近隣道路の渋滞緩和と患者サービスとして利便性の向上を図りました。
- ・平成 27 年 3 月 29 日に既存の 1.5 テスラ MRI 装置 (2 台) と比べ画像情報が多く診断能力が高い 3.0 テスラ MRI 装置を設置し、診療機能の充実を図りました。

【順天堂越谷病院】

- ・平成 26 年 6 月に X 線 CT 装置の更新を行いました。従来の 2 列から 16 列へ装置の性能が向上し、よりの確かな画像診断が行えるようになりました。
- ・開放病棟の入院期間と時間外の診療体制を見直し、平成 26 年 10 月に 1 号館 2 階病棟を「精神科急性期治療病棟 1」及び「精神科急性期医師配置加算」として、施設基準の届出を行いました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

- ・平成 26 年 10 月 24 日付で東京都より 56 床増床に関する開設許可事項一部変更許可申請が認可されました。
- ・平成 27 年 2 月 9 日より一般撮影装置 1・2 の更新を順次実施しました。デジタルラジオグラフィック対応の高機能 X 線撮影システムにより快適な検査環境となりました。
- ・平成 27 年 3 月 25 日より PACS (医療画像保存システム)、RIS (放射線部門システム、読影レポートシステム) の更新を実施しました。高画質・撮影効率の向上で、待ち時間短縮等患者サービス向上を図りました。

【順天堂練馬病院】

- ・平成 26 年 4 月に災害発生時の人員派遣のために「D-MAT CAR」を購入しました。この車は災害拠点病院に保有が求められているもので、1 チーム 5 名の D-MAT チームと、被災地で必要とされる資器材を搬送すること等に使用します。
- ・不足する病院スペースの緩和のために、2 号館に隣接するビルの地下 1 階に女子更衣室を移設し、平成 26 年 12 月にその跡地に臨床研修センターを移設しました。移設した臨床研修センター跡地に、事業所内保育所と病児・病後児保育室を設置しました。事業所内保育所は定員 18 名 (内、練馬区民枠 5 名) にて、病児・病後児保育室は定員 10 名にて、平成 27 年 4 月 1 日より運営開始となります。
- ・「低温プラズマ滅菌装置 (100NX) と (100S)」の 2 台を購入しました。本装置の導入により、滅菌時間が短縮したことで、緊急滅菌対応が可能となり、また 1 日の滅菌処理容量が増加したことで手術件数増加につなげる支援体制を構築することができました。

19. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として取り組み中の大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① B 棟Ⅱ期（低層棟）建設工事

2 号館の解体が完了し B 棟Ⅱ期（低層棟）工事中です。平成 28 年 3 月末竣工へ向けて、順調に進行しています。



工事状況



完成パース

② C 棟新築工事

平成 26 年 7 月に 3 号館解体工事に着手して、平成 28 年 7 月竣工へ向けて、工事が進行中です。



工事状況



完成パース

③ D 棟新築工事

平成 26 年 5 月下旬に完成し、地下 1 階の最新鋭の放射線治療機器（リニアック）、地上階の病院事務機能が、予定通り順調に稼働に入りました。



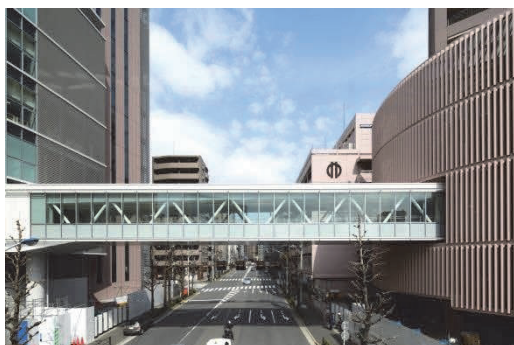
B1 階リニアック



8 階カンファレンスルーム

④ 1 号館・B 棟間専用通路設置工事

平成 26 年 4 月に完成し、1 号館-B 棟間のメインストリートとして、利用されています。



外観



内観

⑤ 横断歩道橋架け替え工事

1号館とB棟Ⅱ期（低層棟）間に接道する横断歩道橋の架け替え工事を平成26年11月に着手して、平成28年4月末の開通に向けて、工事が進行中です。

⑥ （仮称）油坂上空通路設置工事

B棟と大学施設を結ぶ順天堂専用通路を平成28年4月末に開通させるための許可申請手続きを進めています。

⑦ 新研究棟建設

7号館、8号館の跡地に新研究棟を建設するために、7号館、8号館の研究・教育機能の移転を進めています。また、新研究棟の実施設計・施工会社の候補会社選定調整を進めています。

⑧ センチュリータワー・10号館改修工事

電子カルテリプレースに合わせて、堅牢で安全性の高いサーバー室が、平成27年2月下旬に完成しました。その他にも、7号館・8号館の移転に伴う大規模な改修工事を進めています。

⑨ 湯島寮新築工事（レスポワール湯島）

平成26年1月に工事を着手して、平成27年7月竣工に向けて、順調に工事が進行しています。

⑩ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。

(2) 浦安病院

132床の増床許可を得て、免震構造の地上9階、地下1階の新病棟（3号館）建設計画が進められています。施工会社の選考を終え、工事着工の準備が進められています。

その他、病院に近接する土地・建物2件の取得を行いました。

(3) 順天堂東京江東高齢者医療センター

一般病床56床の増床許可を得て、整備のための各種検討を進めていきます。

(4) 練馬病院

地域医療の充実を目的に、病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備事業を進めています。

(5) さくらキャンパス

体育館、寮増築計画の検討を進めています。

20. 日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典について

平成 26 年 4 月 10 日に天皇皇后両陛下のご親臨を仰ぎ、有山登記念館講堂において「日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典」を開催しました。

この「日本医学教育歴史館」は、第 28 回日本医学会総会〔会頭：矢崎義雄国立病院機構理事長、副会頭：小川秀興学校法人順天堂理事長他、準備委員長：永井良三東京大学教授（当時の役職を記載）〕における企画展として平成 23 年に国立科学博物館で開催された「医学教育史展～歴史でみる・日本の医師のつくり方～」の内容を保存しさらに充実させ、日本の医学教育の歴史を資料等により検証できる本邦初の常設展示施設となります。

式典では、天皇皇后両陛下ご臨席のなか、主催者を代表して小川秀興理事長・医学教育振興財団理事長が式辞を述べました。また、ご来賓として森喜朗元内閣総理大臣・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、高久史麿日本医学会会長・医学教育振興財団前理事長、河野洋平元衆議院議長・日本陸上競技連盟名誉会長、横倉義武日本医師会会長、野依良治理化学研究所理事長・ノーベル化学賞受賞者等、各界を代表する多数の方々にお越し頂き、森喜朗元内閣総理大臣、高久史麿日本医学会会長から祝辞を頂きました。順天堂 175 年の歴史の中で、初めて天皇皇后両陛下のお出ましを頂き式典を挙げてきたことは非常に晴々しいことでした。

式典終了後、天皇皇后両陛下は小川秀興理事長とともに会場を後にされ、日本医学教育歴史館をご視察されました。両陛下は小川秀興理事長と酒井シヅ医史学研究室特任教授・日本医史学会前理事長とのご説明により、歴史館にて解体新書等約 120 点におよぶ西洋医学教育の歴史を伝える展示をご覧になりました。

また、午後からは有山登記念館講堂において、独立行政法人理化学研究所の野依良治理事長に「時代に生きる科学技術」と題してご講演頂きました。講演会終了後には引き続き祝賀会を開催し、ご出席頂いた方々には和やかに歓談して頂きました。



日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典



日本医学教育歴史館（外観）



歴史館の展示をご覧になれる天皇皇后両陛下



センチュリータワーで開催された祝賀会

21. 平成 26 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお、金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	7,012	7,001	11
手 数 料 収 入	458	459	△ 1
寄 付 金 収 入	2,648	2,280	368
補 助 金 収 入	6,931	7,131	△ 199
資 産 運 用 収 入	963	1,077	△ 114
資 産 売 却 収 入	22	34	△ 12
事 業 収 入	2,062	2,448	△ 386
医 療 収 入	127,700	127,395	305
雑 収 入	1,549	1,602	△ 53
借 入 金 等 収 入	1,000	560	440
前 受 金 収 入	1,742	1,776	△ 34
そ の 他 の 収 入	25,526	22,886	2,640
資 金 調 整 勘 定	△ 23,192	△ 24,360	1,168
当年度資金収入合計	154,422	150,289	4,133
前年度繰越支払資金	27,119	27,119	
収 入 の 部 合 計	181,541	177,408	4,133

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 41 億円下回りました。主な要因としては、予定していた引当資産の取崩しを翌年度以降に繰り延べたことによります。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	52,242	52,572	△ 330
教 育 研 究 経 費 支 出	21,288	20,226	1,062
医 療 経 費 支 出	48,076	48,531	△ 455
管 理 経 費 支 出	4,953	4,505	448
借入金等利息支出	30	29	1
借入金等返済支出	291	291	0
施 設 関 係 支 出	14,775	10,847	3,928
設 備 関 係 支 出	6,425	5,059	1,366
資 産 運 用 支 出	10,300	6,237	4,063
そ の 他 の 支 出	11,085	11,975	110
予 備 費	5,141	0	5,141
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 10,964	△ 9,789	△ 1,175
当年度資金支出合計	163,642	149,483	14,159
次年度繰越支払資金	17,899	27,925	△ 10,026
支 出 の 部 合 計	181,541	177,408	4,133

資金支出は、予算と比較し約 142 億円下回りました。主な要因としましては、不動産の取得に備え計上していた予備費や病院関係の工事費の支出などが翌年度に繰り越されたことによります。

当年度資金収支差額は、差引約 8 億円となり、次年度繰越支払資金は約 279 億円となりました。

当年度資金収支差額	△ 9,220	806	△ 10,026
-----------	---------	-----	----------

(2) 消費収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	H26 年度決算	H25 年度決算	差 異
学生納付金	7,001	6,891	110
手数料	459	445	14
寄付金	2,397	3,061	△ 664
補助金	7,131	7,234	△ 103
資産運用収入	1,077	909	168
事業収入	2,448	2,393	55
医療収入	127,395	124,859	2,536
雑収入	1,618	1,670	△ 52
その他	2	0	2
帰属収入合計	149,528	147,464	2,064
基本金組入額合計	△ 5,938	△ 15,853	9,915
消費収入の部合計	143,590	131,611	11,979

帰属収入は、約 1,495 億円となり前年度と比較し約 21 億円増加しました。医療収入は附属病院の診療体制を充実させたこと等により約 25 億円増加しました。再編事業に伴い既存建物の除却等により基本金組入額は約 59 億円と前期より 99 億円減少しています。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	H26 年度決算	H25 年度決算	差 異
人 件 費	53,138	51,556	1,582
(退職給与引当金繰入額)	(2,643)	(2,604)	39
教育研究経費	27,906	25,377	2,529
(減価償却額)	(7,680)	(6,832)	848
医療経費	48,839	46,858	1,981
管理経費	4,932	4,650	282
(減価償却額)	(426)	(405)	21
借入金等利息	29	30	△ 1
資産処分差額	1,845	254	1,591
徴収不能額等	162	83	79
消費支出の部	136,850	128,807	8,043

消費支出は、約 1,369 億円となり、前年度と比較し約 80 億円増加しました。これは新病棟竣工に伴う減価償却、維持費用の増加および既存建物の除却に伴う資産処分差額の計上により増加しております。

帰属収支差額	12,678	18,657	△ 5,979
当年度消費収入超過額	6,740	2,804	3,936
前年度繰越消費支出超過額	44,045	46,848	
基本金取崩額	500	0	
翌年度繰越消費支出超過額	36,805	44,045	

帰属収支差額は、約 127 億円となりました。再編事業の本格化により資産の取得と除却が増加しています。消費収支差額は約 67 億円となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目	H26 年度末	H25 年度末	増 減
固 定 資 産	164,078	163,961	117
有 形 固 定 資 産	137,599	131,438	6,161
土 地	45,308	42,640	2,668
建 物	59,346	59,500	△ 154
その他の有形固定資産	32,945	29,298	3,647
その他の固定資産	26,479	32,523	△ 6,044
流 動 資 産	95,831	83,327	12,504
現 金 預 金	27,925	27,119	806
その他の流動資産	67,906	56,208	11,698
資 産 の 部 合 計	259,909	247,288	12,621

総資産は前年度より約126億円増加して、約2,599億円となりました。

固定資産は、キャンパス及び病院附属施設を拡充するため、建替え工事の実施および不動産を取得したことにより増加しました。その他の固定資産は保有している有価証券のうち残存期間が1年未満のものを流動資産のその他流動資産に振り替えています。

(負債の部)

科 目	H26 年度末	H25 年度末	増 減
固 定 負 債	26,829	29,488	△ 2,659
長 期 借 入 金	355	636	△ 281
学 校 債	3,230	6,320	△ 3,090
その他の固定負債	23,244	22,532	712
流 動 負 債	17,231	14,629	2,602
短 期 借 入 金	281	291	△ 10
短期学校債	3,650	0	3,650
その他の流動負債	13,300	14,338	△ 1,038
負 債 の 部 合 計	44,061	44,118	△ 57

負債約440億円のうち長短有利子負債は約56億円となり、前年度対比で約3億円減少しました。

27年度に償還を迎える学校債約37億円は固定負債から流動負債に振り替えています。

(基本金の部)

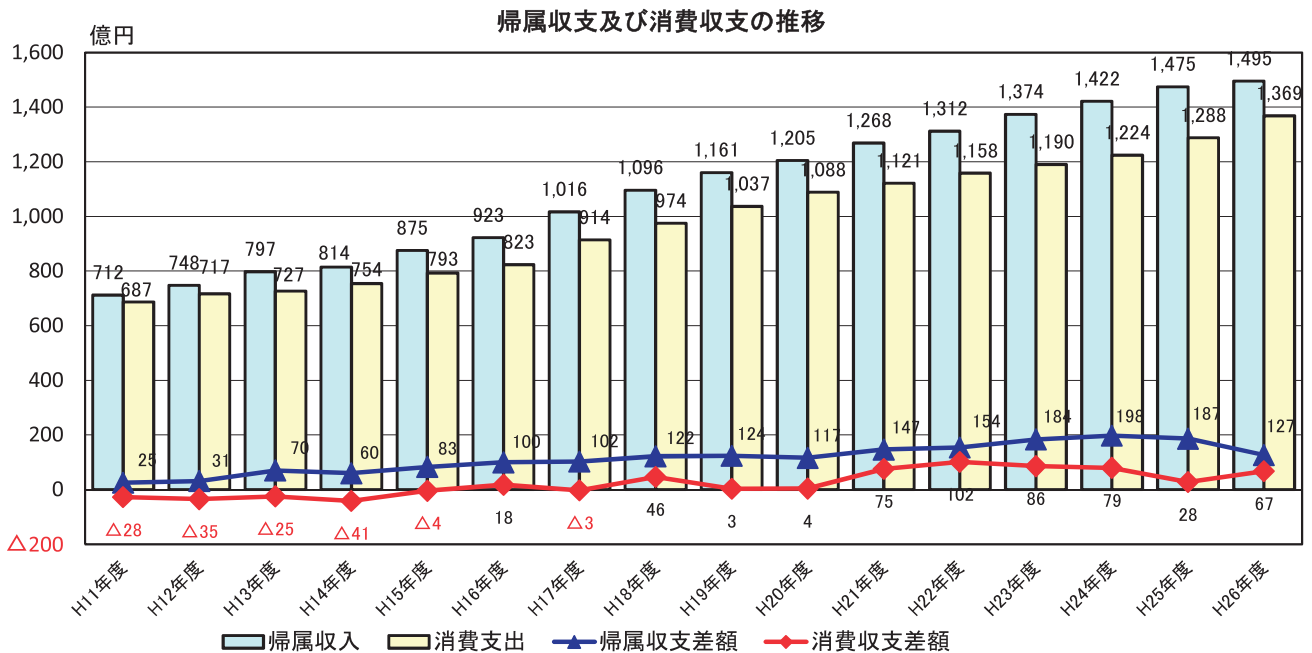
科 目	H26 年度末	H25 年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	241,013	235,372	5,641
第 2 号 基 本 金	1,756	1,949	△ 193
第 3 号 基 本 金	0	500	△ 500
第 4 号 基 本 金	9,885	9,394	491
基 本 金 の 部 合 計	252,654	247,215	5,439

(消費収支差額の部)

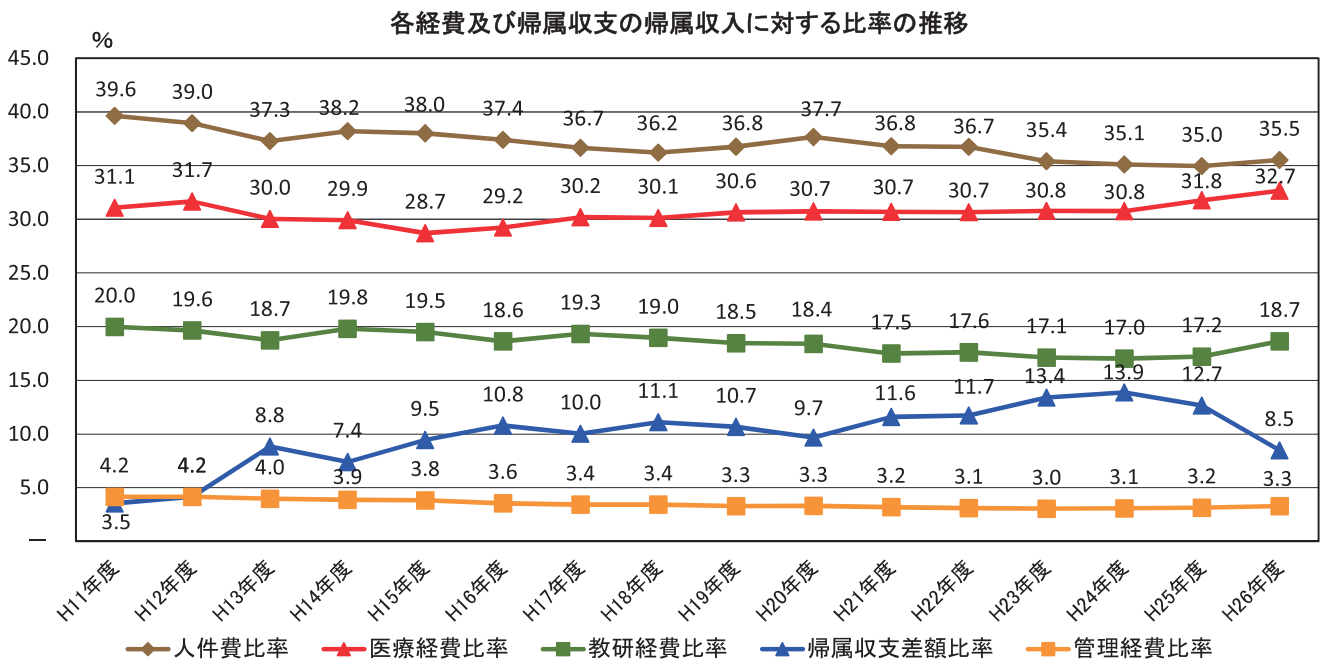
科 目	H26 年度末	H25 年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	36,805	44,045	△ 7,240
消費収支差額の部合計	△ 36,805	△ 44,045	7,240
負債の部合計、基本金の部及び消費収支差額の部合計	259,909	247,288	12,621

翌年度繰越消費支出超過額は消費収入超過額および基本金取崩額の合計約72億円改善して、約368億円となりました。

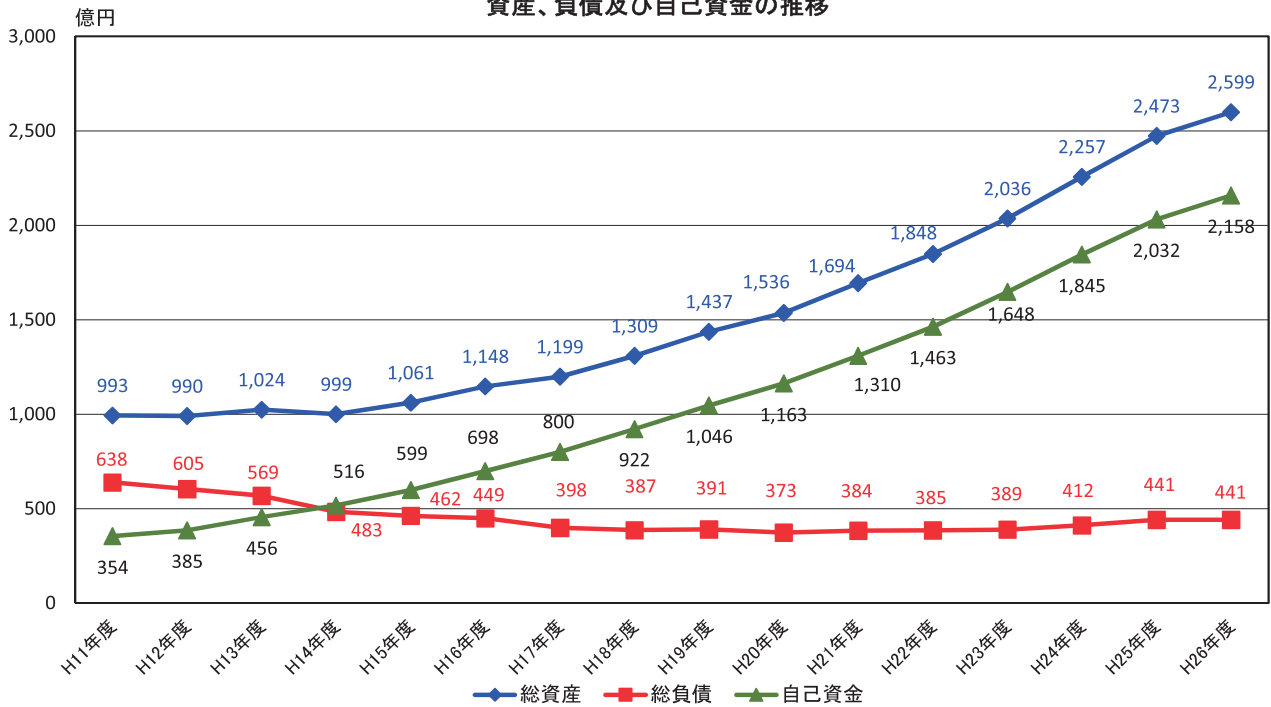
22. 財務状況の推移



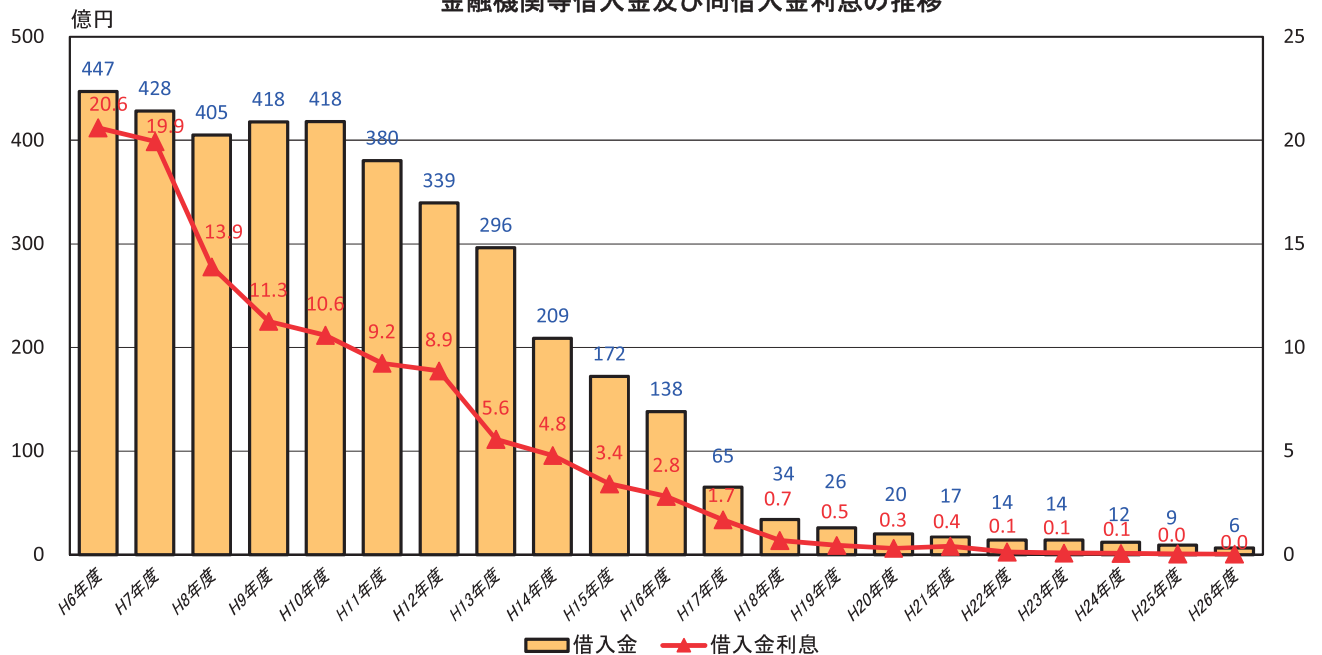
教育・研究・診療の充実を図るため、平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院（平成16年度より自主運営開始）、平成17年度 練馬病院開院（平成18年度よりフル稼働）、平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、平成19年度はスポーツロジセンター設立、浦安病院救急救命センター設置及び練馬病院3号館建設、平成22年度は静岡県三島市に保健看護学部を開設しました。平成27年4月には本郷・お茶の水キャンパスに国際教養学部を開設いたします。現在、キャンパス・ホスピタル再編事業を進行しており、26年度には新病棟（B棟I期）が稼働しました。再編事業に関する施設・設備投資、償却費及び除却費が生じています。



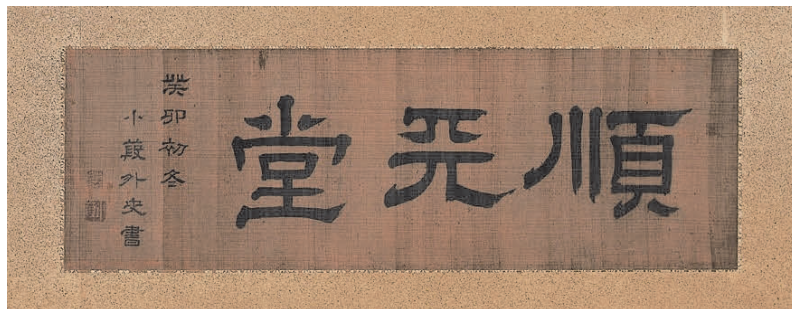
教育・研究・診療の充実に伴い、各経費及び人件費は毎年増加していますが、経費の効率化、外部資金の導入などの効果により収入の増加見合いに収めることができたため、各経費比率（経費の効率化の尺度を表し、各経費/帰属収入により算出する。）とも安定して推移しています。キャンパス・ホスピタル再編事業がピークをむかえ、工事、移転等に伴う費用が生じています。

資産、負債及び自己資金の推移


上記のグラフは資産、負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで負債が自己資金を上回っていました。その後は堅調な帰属収支差額を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成26年度には17.0%と、大幅に改善しています。

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移


総負債比率改善のため有利子負債の返済を積極的に進めてきました。平成26年度末の金融機関等からの借入残高は約6億円、学校債を合わせた借入総額は約75億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な経営を維持しております。



Juntendo, Tokyo, Established 1838